

恒久平和への祈りを込めて



8月2日から16日、市役所コミュニティルームおよび展示コーナーで、平和パネル展と平和祈念企画展「戦時下のくらし」を開催しました。原爆の悲惨さを伝えるパネルや戦時中の金属供出により本来金属製であったものが陶器製になった日用品、戦時中に発行されたお金などを展示しました。終戦から76年もの歳月が流れようとしていますが、今も世界の中では争いが絶えません。平和で豊かな社会を築き次の世代に引き継いでいくため、改めて戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会となりました。

パラリンピックの聖火がやってきた！



8月19日、東京2020パラリンピックの聖火が吉川市を訪れました。イギリスのストーク・マンデビルと全国700カ所以上で採火される炎から生み出される聖火は、「Share Your Light(あなたは、きっと、誰かの光だ。)」をコンセプトに、パラリンピックへの期待や祝祭感を高めてくれました。

世界に一つだけの万華鏡



8月20日、家庭教育講座「科学実験」を開催しました。吉川さいえんすクラブの山田陽一先生に「万華鏡づくり」を教わり、鏡を貼り合わせて一から組み立てに挑戦しました。何度ものぞき込んで確認し、きらきら不思議な模様の万華鏡が完成しました。

なるほど！ S | D | G | S

小さなことから
コツコツと



2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す国際目標です。貧困や気候変動などの世界的な課題を解決するために、「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、17の目標と169のターゲットが設定されています。

目標 3 すべての人に 健康と福祉を



世界の人口の半数が基礎的な医療保険サービスを受けられていない

医療制度が整っていなかったり、医療費がすべて自己負担であったりと、基礎的な医療保険サービスを受けられない人は、世界人口の約半数に上ると言われています。

日本での課題

日本では医療保険制度が整っていますが、少子高齢化のさらなる進行によって、病院にかかる人が増える一方で、医療費を負担する世代が減ると、制度が保てなくなる恐れがあります。医療費を増大させないために、健康上の問題がなく日常生活を送ることができる「健康寿命」を延ばすことが重要となっています。

介護予防には
なまらん体操
がおすすめ！

私たちにできること

一人ひとりが健康意識を高め、健康診断や検診を定期的に受けたり、運動の習慣化や食生活の改善などを行うことで健康的な暮らしを目指しましょう。

